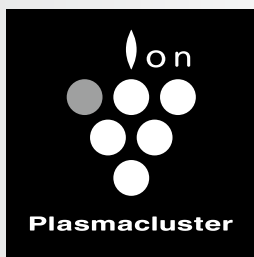
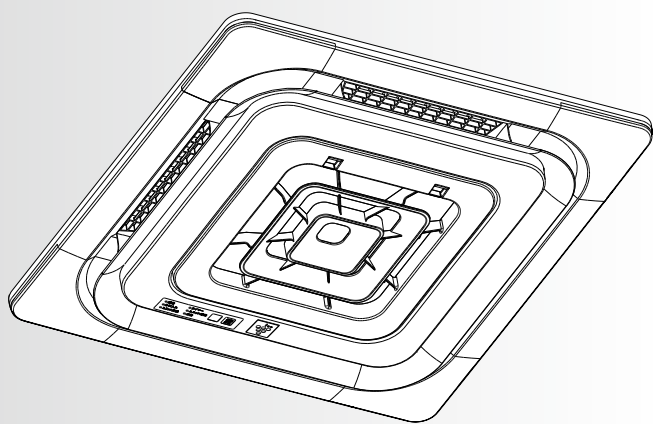


天井埋込型  
プラズマクラスターイオン発生機  
(屋内用・天井埋込型)

## 工事説明書

形名  
アイ ジー                      ビー                      エス  
**IG-3B350S**



高濃度  
プラズマクラスター 25000 \*

この製品の性能・機能を十分に発揮させて、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。

据付工事前にこの工事説明書を必ずお読みください。

ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

この工事説明書は、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。

\* 当技術マークの数字は、この商品を適用床面積の部屋の天井中央に配置して、「標準」運転のときに天井に沿って吹き出し方向に1.5m、天井より距離1.5mの地点で測定した、空中に吹き出される1cm<sup>3</sup>当たりのイオン個数の目安です。



プラズマクラスターロゴおよび  
プラズマクラスター、Plasmacluster は、  
シャープ株式会社の登録商標です。

## もくじ

ページ

### ご使用前に

- 安全上のご注意 2
- 安全使用に関する重要な内容です 4
- 本体付属品、および別売品

### 使いかた

- 1 設置基準 5
- 2 据付場所の選定 6
- 3 据付図 7
- 4 製品寸法図 7
- 5 据付場所の準備 8
- 6 吊りボルトの準備 9
- 7 イオン発生機の据付工事のしかた 10
- 8 試運転 17
- 9 チェックシート 18
- 10 引き渡し 裏表紙

ご注意

- リモコンは別売品となっています。商品进行操作するため、必ず1台以上のリモコンを準備してください。

4 ページ



### お客様へ

- この製品の施工には電気工事士の資格が必要です。取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 一般の方の工事は法律で禁じられています。

### 工事店様へ

- 工事が終了しましたら、本工事説明書をお客様へお渡しください。なお(同梱の)取扱説明書、および保証書・注意書も必ずお客様にお渡しください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。



## 警告

感電や漏電、発火などによる事故やけがを防ぐ。



- 改造したり、部品を変更して使うことは絶対しない
- 工事、修理のとき以外は分解しない  
落下、感電、火災の原因。
- 送り配線は同じ機器を接続するときのみ使用し、他の機器には使用しない
- 機器の送り容量は13Aです  
容量を超えると発熱、火災の原因。
- 機器に他の荷重をかけない  
落下、感電、焼損の原因。
- 交流200V以外では使わない  
電源周波数は50Hz、60Hz共用です。間違っていると短寿命、火災の原因。



- 据え付けは、お買いあげの販売店、または専門業者に依頼する  
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、落下や感電、火災の原因。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品、および指定の部品を使用する  
当社指定部品を使用しないと、落下、水漏れや、火災、感電の原因。
- 据え付けは、重量(約18kg)に十分に耐える所に確実におこなう  
強度の不十分な所や取り付けが不完全な場合は、落下などにより、けがの原因。
- 電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する  
電源回路容量不足や施工不備があると火災、感電の原因。
- 配線は、コード押さえが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取り付ける  
不備があると、ほこりや水などにより端子接続部の発熱で火災や感電の原因。
- 台風などの強風、地震に備え、所定の据え付け工事をおこなう  
据え付け工事に不備があると、転倒、落下などによる事故の原因。
- 据え付け工事は、この工事説明書に従って確実におこなう  
据え付け工事に不備があると、落下、感電、火災の原因。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災や感電の原因。
- アース工事をおこなう アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない  
アース工事に不備があると、感電の原因。
- 据え付け工事は必ず二人以上でおこなう  
思わぬ事故の原因。
- 据え付け工事前には、必ず電源を遮断する  
感電、火災の原因。
- 据え付け工事は不安定な足場で作業しない  
転落や落下によるけがの原因。
- 電源コードや本体を濡れた手で触れない  
感電、故障の原因。
- 電源電線や接続電線をはさんだり、ネジなどで傷付けない  
電源電線や接続電線が傷付くと、火災、感電の原因。
- 電源電線は必ず単線を使用する  
電源供給ができず動作不良の原因。

■誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。



**警告**

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。



**注意**

「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。



してはいけないこと。



しなければならないこと。



**注意**

感電や漏電、発火などによる事故やけがを防ぐ。



● **本製品は屋内用です。次の場所には設置しない**

- 天井下面が傾いている場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 製品に水がかかったり湯気が当たる場所。
- 食用油など油成分が浮遊している場所。
- 激しい振動のある場所。
- 可燃性／爆発性ガスがある場所。
- 硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリなど、機器に影響する物質の発生する場所。
- フッ素樹脂やシリコンを配合したスプレーや化学薬品を使う場所。
- 据え付け下に、濡れては困るものがある場所。(高湿度環境のときに、露が滴下し損害が生じるおそれがあります)
- ドア、または窓の近くで高湿度の外気と接するおそれのある場所。(結露するおそれがあります)

● **吸入口や吹出口をものでふさがない**

故障、破損の原因。

● **フィルターをはずして使わない**

製品内部に異物が入り、火災、感電、故障の原因。

● **本製品に貼ってあるラベルは、絶対に剥がさない**

誤使用や事故の原因。

ご注意

● **プラズマクラスターイオン発生機の近くでは、フッ素樹脂やシリコンを配合した化粧品など※は使わない。**

※ ヘアケア商品(枝毛コート液・ヘアームース・ヘアトリートメントなど)、化粧品、制汗剤、静電気防止剤、防水スプレー、つや出し剤、ガラスクリーナー、化学ぞうきん、ワックスなど。

本体内部にフッ素樹脂やシリコンが付着し、プラズマクラスターイオンが発生しなくなることがあります。その場合、ユニット電極部のお手入れをしてください。

- **室内と天井内の温度差が大きく、高湿度になる環境では、本体の外表面に結露し水滴が滴下することがあります。**



● **ボルトやネジは、確実に締め付ける**

変形、破損、落下の原因。

● **試運転で異常や異音が発生したときは、直ちに運転を中止する**

火災、感電、故障の原因。

● **高所作業の際、安全帯の着用や安全な足場の使用など転落防止対策を実施する**

転落や落下によるけがの原因。

● **手袋を着用し工事をおこなう**

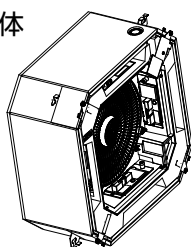
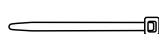
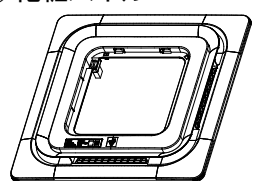
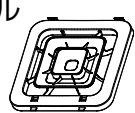
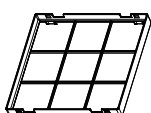

けがの原因。





● **本製品は決められた使用条件(周囲温度0℃～35℃)で使用する**

火災、故障、破損の原因。

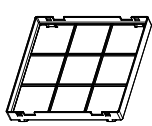

# 本体付属品、および別売品


据え付け前に付属部品を確認してください

本体付属品		
部品名	個数	備考
① 本体 	1	
② 結束バンド 	1	電源線の固定用 本体に付属
③ 化粧パネル 	1	
④ 点検パネル 	1	化粧パネルに 取り付け済
⑤ フィルター 	1	点検パネルに 取り付け済
⑥ パネル止めねじ M5×25 (十字穴付ボルト) 	4	化粧パネル 取り付け用4本
⑦ 据付型紙	1	590mm×590mm
⑧ 取扱説明書	1	
⑨ 工事説明書	1	本書
⑩ 保証書	1	
⑪ 注意書	1	

別売品		
部品名	個数	形名
① リモコン 	1	IZ-BRC2
• リモコンホルダー 	1	
• ホルダーネジ リモコンホルダー 固定用ネジ 	2	
• 電池 単4形乾電池 (お試し用) 	2	

※商品进行操作するためには、別売品のリモコンが必要です。

別売品(交換用)		
部品名	個数	形名
① フィルター 	1	IZ-F3B35A
② 交換用プラズマクラスターイオン発生ユニット(4個入) 	1	IZ-C75B4X

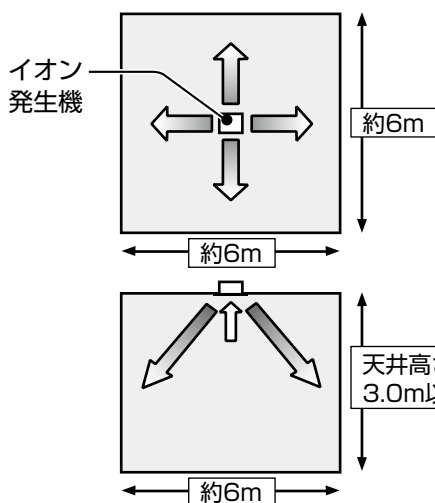
現地手配部品	① SUS304製の吊りボルト、およびナット、平座金(吊りボルトはM10、またはW3/8) ※使用環境により錆びるおそれがあるため必ずSUS304製を使用してください。	③ 壁スイッチ (壁スイッチを設けることをおすすめします) 
	② 電源電線	

# 1 設置基準

本製品の適用床面積は約35m<sup>2</sup>(約21畳)です。化粧パネルの中央より室内の空気を吸い込み、4方向にイオンを吹き出す構造となっています。  
イオンが拡散しやすいように極力部屋の中央に設置してください。設置位置から離れるほどイオン到達距離が減少し、効果を発揮できなくなります。

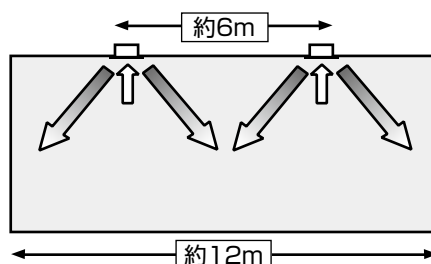
## プラズマクラスターイオン到達範囲

適用床面積：約35m<sup>2</sup>(約21畳)、  
天井高さ(～3.0m)

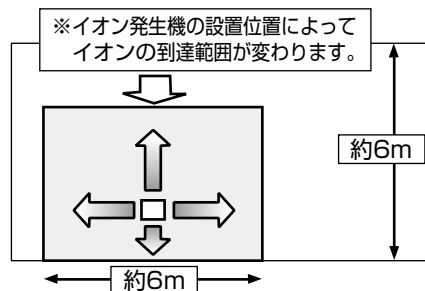


※それぞれの実際のイオン個数やイオンが届く範囲、付着臭低減効果や浄化効果は、お部屋の状況や使いかたによって異なります。

●プラズマクラスターイオン発生機を複数台使用することでイオン到達範囲を広げることができます。

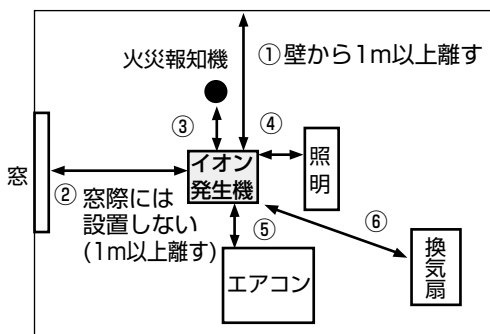


●プラズマクラスターイオン発生機は約6m×約6mの範囲をカバーしますが、壁際に設置されるとイオンの到達範囲が変わります。

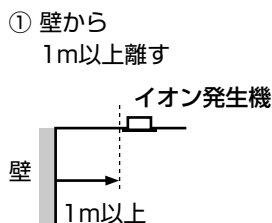


## プラズマクラスターイオン発生機の設置条件

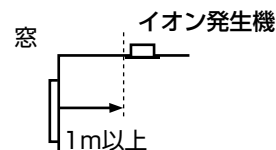
イオンが拡散しやすいように極力部屋の中央付近に設置してください。



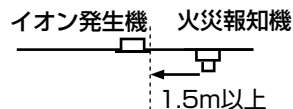
※スプリンクラーなどの設備が設置されている場合の設置条件については、所轄の消防署にご相談ください。



② 窓から  
1m以上離す



③ 火災報知機から 1.5m以上離す



④ 照明器具から極力離す  
(リモコンが正常に動作しないことがあります)

⑤ エアコンから極力離す  
(エアコンの気流の影響を受け、イオン濃度の分布が変わります)

⑥ 換気扇から極力離す  
(換気扇の運転時にイオン濃度が低下する場合があります)

※対象エリアが狭い空間で、壁・窓から距離が確保できない場合は、対象エリアの中央付近に設置するようにしてください。

## 2 据付場所の選定

● 次の場所でご使用になりますと故障の原因になりますので、設置しないでください。

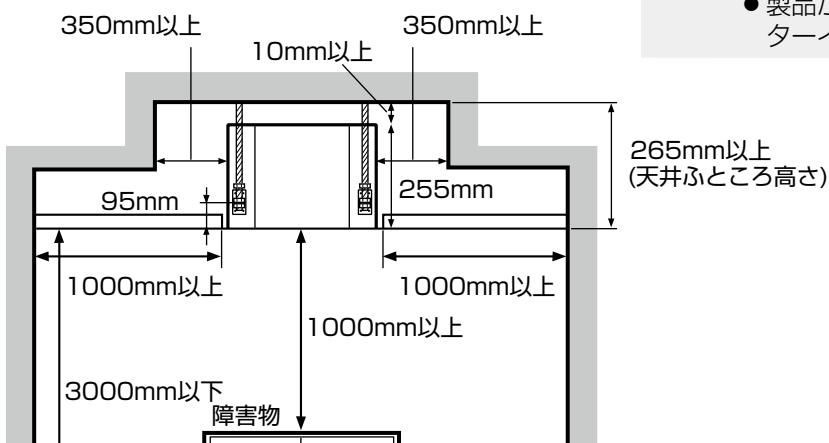
- 天井下面が傾いている場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 製品に水がかかったり湯気が当たる場所。
- 食用油など油成分が浮遊している場所。
- 激しい振動のある場所。
- 可燃性/爆発性ガスのある場所。
- 硫黄系ガス、塩素系ガス、酸、アルカリなど、機器に影響する物質の発生する場所。
- フッ素樹脂やシリコンを配合したスプレーや化学薬品を使う場所。
- 据え付け下に、濡れては困るものがある場所。
- ドア、または窓の近くで高湿度の外気と接するおそれのある場所。

※室内と天井内の温度差が大きく、高湿度となる環境では、本体の外表面に結露し水滴が滴下することがあります。

下記の項目について、お客様の同意を得て据え付けてください

### 本体

- 天井下面が傾いていないところ
- 吸込口・吹出口付近に障害物がなく、部屋全体に風がゆきわたるところ
- 据え付け・サービス時の作業スペースが確保できるところ
- 定期的なフィルター清掃やプラズマクラスターイオン発生ユニットのお手入れ・交換などのメンテナンスができるところ
- 製品重量に十分に耐える強度のあるところ
- 高周波を発生する機器や、精密機器がないところ(誤動作や故障の原因になります)
- テレビ・ラジオ・電波時計などからはできるだけ離れたところ(映像の乱れや雑音が生じることがあります)
- 蛍光灯、白熱灯からできるだけ離れたところ(リモコン使用時、電子式瞬間点灯方式(ラピッドスタート方式)、またはインバータ方式の蛍光灯を付けた部屋では、リモコンが正常に動作しないことがあります)
- 運転音や振動が増大しないところ
- 吹出口が火災報知機から1.5m以上離れたところ
- 下図のスペースが確保できるところ



### リモコン

- 見やすいところ
- 幼児の手が届かないところ
- 部屋に蛍光灯が取り付けられている場合には蛍光灯を点灯させ、リモコンが正常に動作するところ(電子式点灯方式の蛍光灯(インバータ蛍光灯など)を付けた部屋では、信号を受け付けない場合があります)
- 直射日光が当たらないところ
- ストーブなどの熱の影響を受けないところ
- 水・油・蒸気が飛散しないところ
- 付近の温度が40℃以上、または0℃以下にならないところ

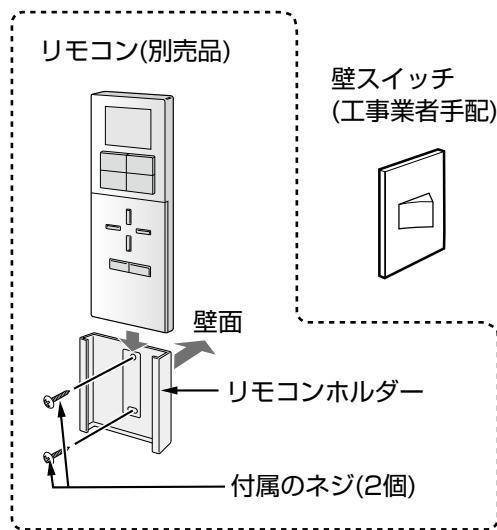
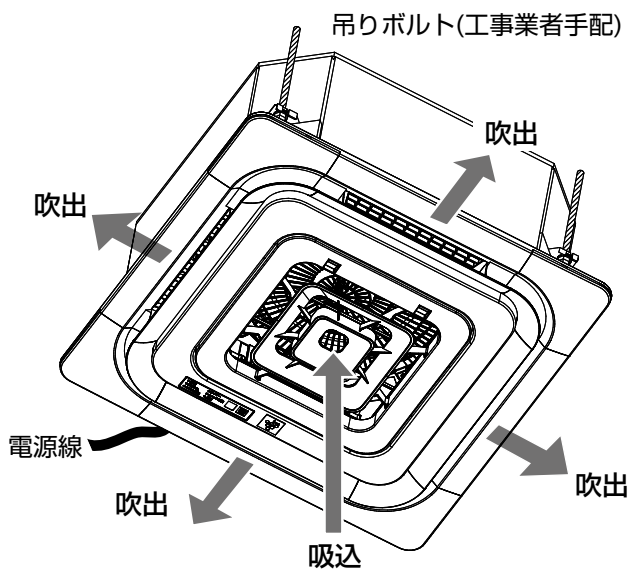
#### ご注意

- イオン濃度を維持するためにはフィルターとユニットの清掃を定期的の実施する必要があります。
- プラズマクラスターイオンの発生音「ジー」音について特に気になる場所への設置は事前に確認する必要があります。
- 捕虫器等の紫外線を発生する装置の近くに設置すると製品が変色する場合があります。(性能に問題はありませぬ)
- お部屋の環境により、空気中のちりやほこりがプラズマクラスターイオン発生機による空気循環で天井や壁などに付着することがあります。また、使用環境によっては製品にサビやカビが発生する場合があります。
- 製品が結露するような環境では、プラズマクラスターイオンが発生しない場合があります。

### 天吊り時の注意

- 据え付けには吊りボルトを 사용합니다。据え付けようとする場所が製品重量(約18kg)に耐えられるかどうか検討してから吊りボルトを設置してください。
- 床面から天井面までの高さは、3m以内としてください。

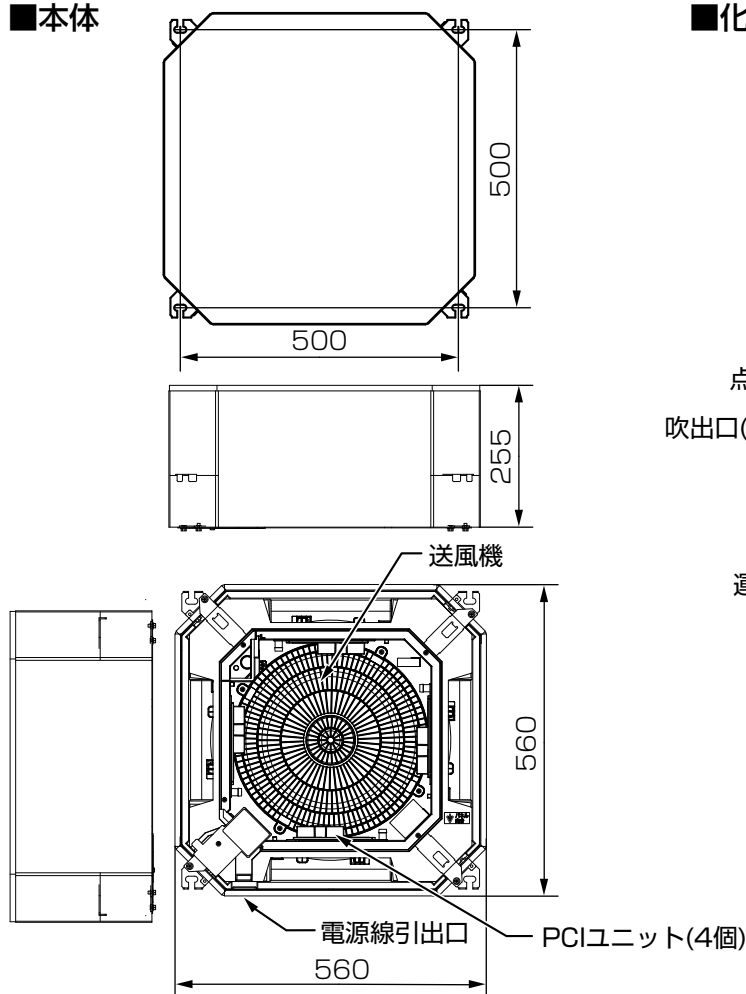
# 3 据付図



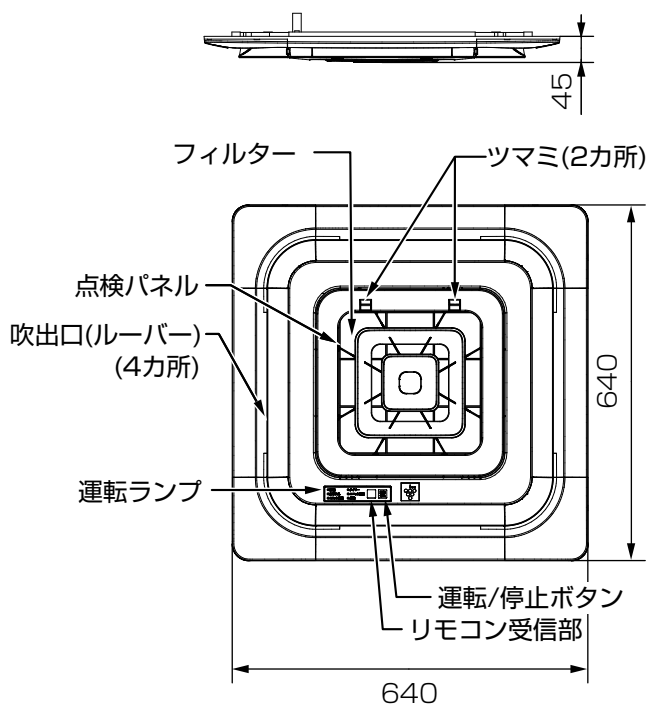
# 4 製品寸法図

(単位 : mm)

## ■本体



## ■化粧パネル

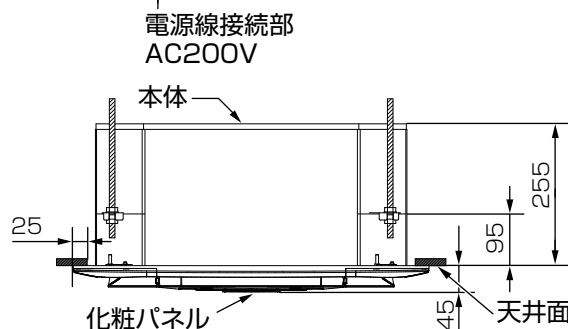
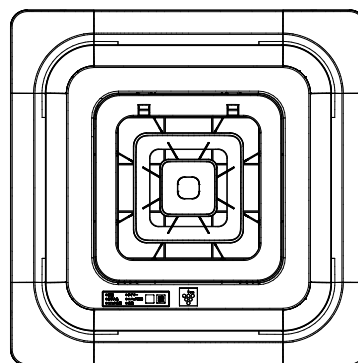
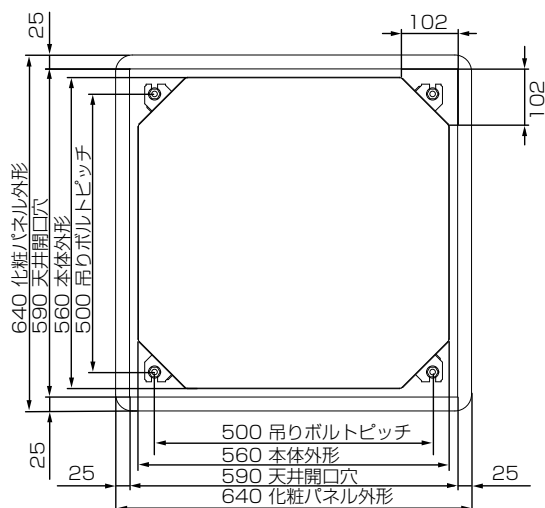
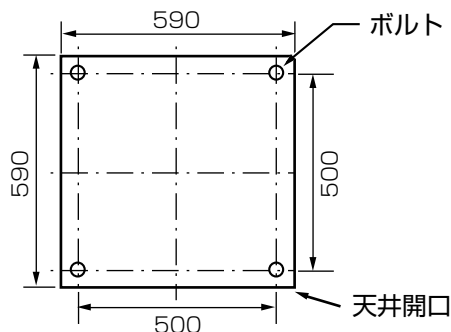


# 5 据付場所の準備

## 1. 通常天井の場合

天井面に据付用開口穴(590mm×590mm)を開ける。据付型紙は、開口寸法に合わせていますのでご利用ください。

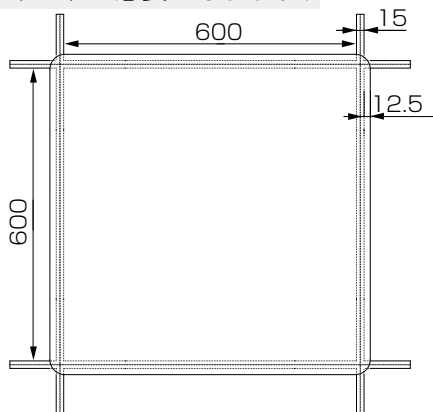
※開口穴を開けた後、天井の水平度を保ち、天井の振動を防ぐため、天井骨組などの補強が必要な場合があります。くわしくは建築・内装業者とご相談ください。



## 2. グリッドシステム天井の場合

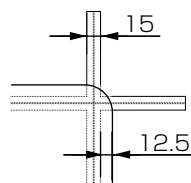
グリッド寸法600mm×600mm、または640mm×640mmに対応しています。

※吊りボルトは必要となります。

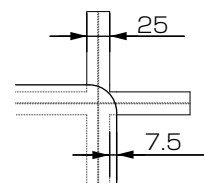


※グリッド寸法600mm×600mmのときに化粧パネルが下記寸法分だけグリッドよりはみ出るため、照明などの干渉にご注意ください。

Tバー15mm幅…はみ出し12.5mm  
Tバー25mm幅…はみ出し7.5mm



Tバー15mm



Tバー25mm



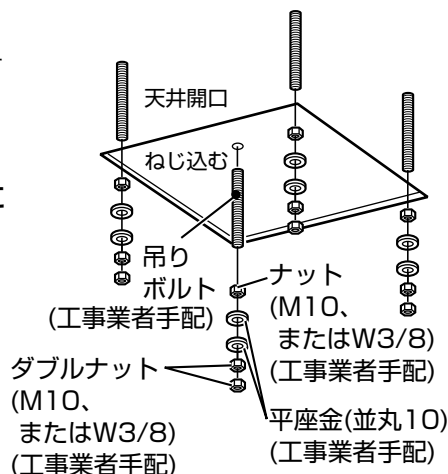
# 6 吊りボルトの準備

## 1. 新設コンクリートの場合

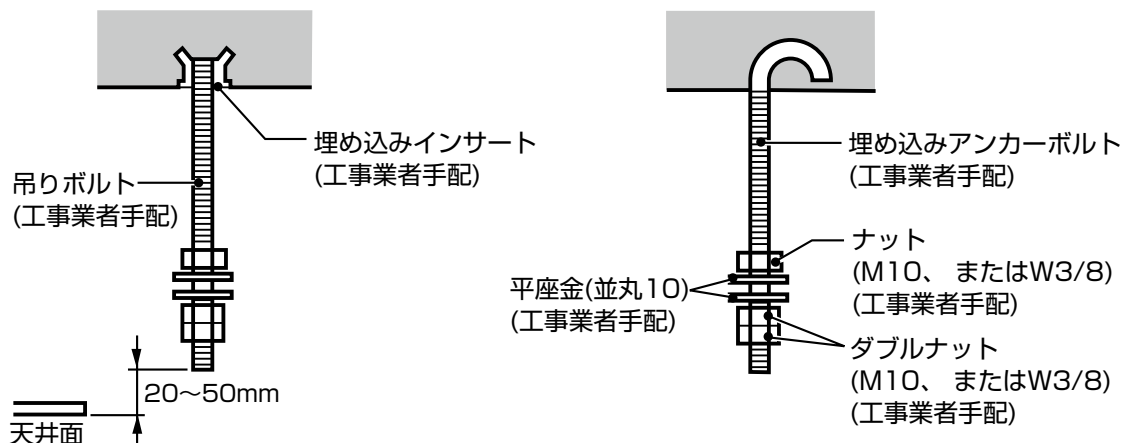
- 据付場所の状況に合わせて、埋め込みインサート、または埋め込みアンカーボルトを取り付けてください。
- SUS304製の吊りボルト・ナット・平座金を図のように取り付けてください。

### <据付工事上のご注意>

- SUS304製の吊りボルト・ナット・平座金は、工事業者手配になっています。
- 吊りボルトは、製品重量(約18kg)に耐えられるように取り付けてください。
- 下側のナットは、必ずダブルナットにしてください。シングルナットにするとナットが緩んで、取り付けた製品が落下するおそれがあります。



※使用環境により錆びるおそれがあるため必ずSUS304製の吊りボルト・ナット・平座金を使用してください。

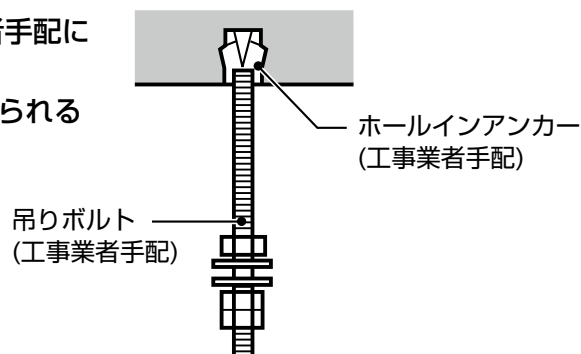


## 2. 既設コンクリートの場合

ホールインアンカーなどを使用し、SUS304製の吊りボルト・ナット・平座金を図のように取り付けてください。

### <据付工事上のご注意>

- SUS304製の吊りボルト・ナット・平座金は、工事業者手配になっています。
- SUS304製の吊りボルトは、製品重量(約18kg)に耐えられるように取り付けてください。
- 下側のナットは、必ずダブルナットにしてください。シングルナットにするとナットが緩んで、取り付けた製品が落下するおそれがあります。



※使用環境により錆びるおそれがあるため必ずSUS304製の吊りボルト・ナット・平座金を使用してください。

# 7 イオン発生機の据付工事のしかた

## ■ 据付上の注意事項

- 本体プラス4台まで送り配線が可能です。(合計5台まで)
- 本製品は精密機器ですので、本体に衝撃を与えないよう取り扱いには十分に注意してください。
- 本体の運搬・施工の際は、本体部分を持っておこなってください。
- 据付工事は必ず二人以上でおこなってください。
- 据付工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および工事説明書に従ってください。
- 据付工事は、不安定な足場で作業しないでください。
- 据付工事前に、必ず電源を遮断してください。
- 電源は単相200V、電源周波数は50Hz、60Hz共用です。
- 本体、および部品の運搬・施工の際は、保護具(軍手など)を着用してください。
- アースはD種接地にて実施してください。
- 誤配線は、故障や焼損の原因になります。
- 製品に他の荷重をかけないでください。
- 製品の発熱は少ないため、断熱材を被せることは可能です。

## 1. 本体の取り付け

1

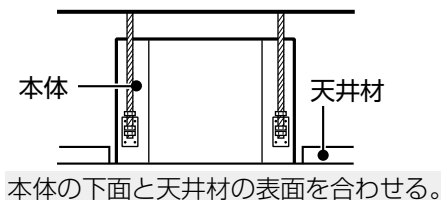
吊りボルトのナット2個(ダブルナット)をゆるめてください。

2

吊りボルトの2枚の平座金の上に本体吊り金具を差し込み、ナット2個(ダブルナット)を仮締めしてください。

### 通常天井に取り付ける場合

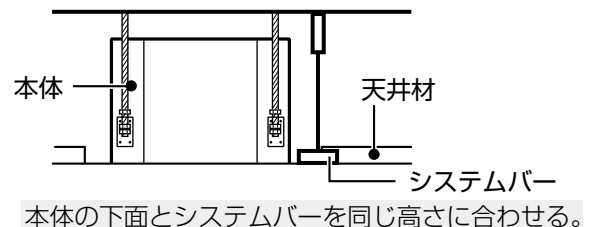
本体の下面と天井材の表面が同じ高さになるように、ナットを調整してください。



本体の下面と天井材の表面を合わせる。

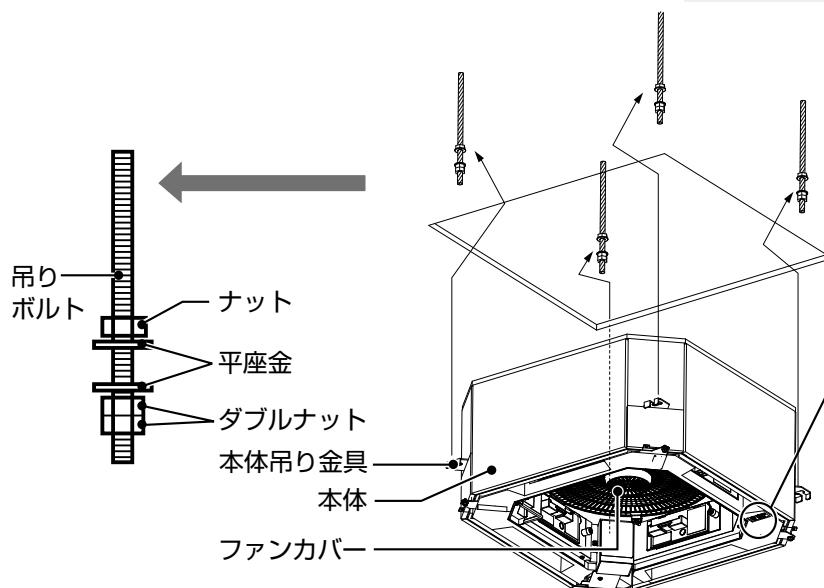
### グリッドシステム天井に取り付ける場合

本体の下面とシステムバーが同じ高さになるように、ナットを調整してください。



本体の下面とシステムバーを同じ高さに合わせる。

3

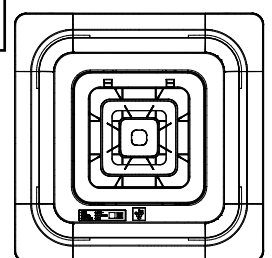


ご注意

- ファンカバーを持って押し上げて本体を持ち上げないでください。変形、故障の原因となります。

※本体の向きに注意してください。

化粧パネルは記載の向きに取り付けられます

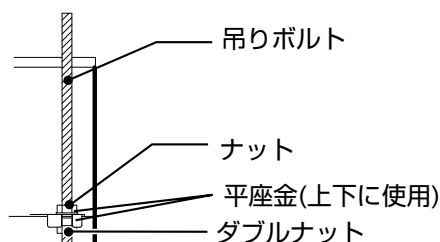
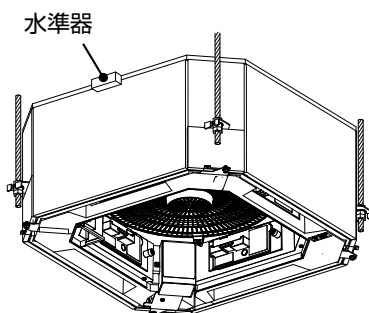


## 1. 本体の取り付け(つづき)

水準器で本体の水平を確認しながら、ナットを締め付けて固定してください。

※ 吊り金具の上下方向位置、水平度が正しくないと化粧パネルが変形し、本体と化粧パネルとの間の風漏れにより結露するおそれがあります。

4

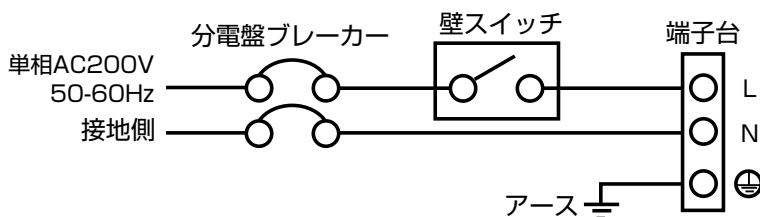


※ 吊りボルトピッチと天井開口穴のセンターが同じになるように機器の位置を調整してください。

## 2. 壁スイッチの接続

壁スイッチ(市販品)の接続を結線図のようにつなぐ。

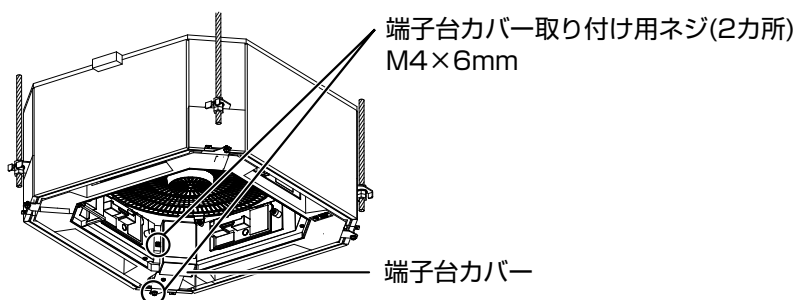
壁スイッチへの接続方法は、壁スイッチに付属の説明書をご覧ください。



## 3. 電源線の接続

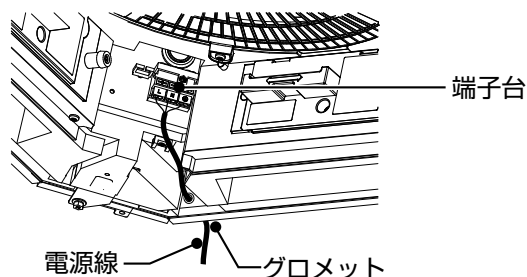
ネジ(2カ所)を取りはずして、端子台カバーを取りはずす。

1



本体の側面のグロメットに電源線を通して電源線の接続をおこなう。

2

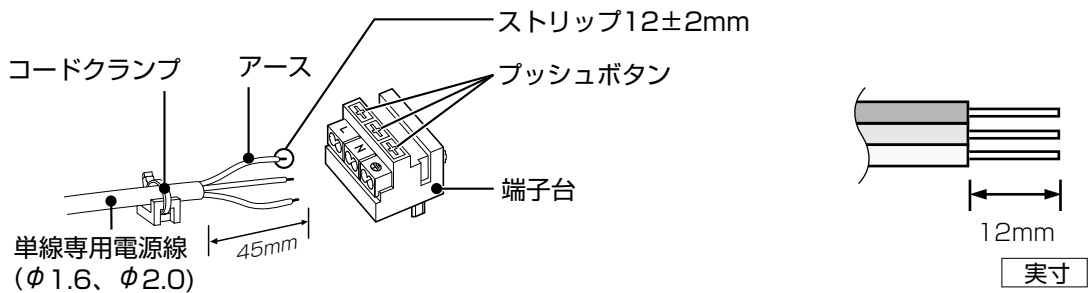


# 7 イオン発生機の据付工事のしかた (つづき)

## 3. 電源線の接続(つづき)

### 端子台の接続方法

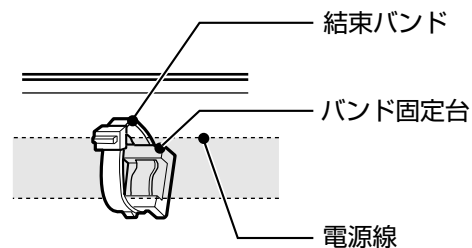
- ① 3芯ケーブルの外被をカットし、電源線・アース線をそれぞれ約45mm露出させる。
- ② 電源線・アース線の被覆をそれぞれ、端子台のストリップゲージに合わせて、所定の長さ(12mm)にストリップする。(適合電線はφ1.6、またはφ2.0電線です)  
下図の寸法記入部分は実寸です。スケールとしてご利用ください。
- ③ プッシュボタンをドライバーなどで強く押しながら、下図に示すように電源線を端子台の挿入面に垂直に奥まで確実に差し込む。(一度引っ張り、接続の確認をします)  
※端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、ねじった状態で差し込まないでください。(感電、火災の原因)
- ④ アース線を用いて、D種接地工事を施す。(不完全な場合には感電の原因)
- ⑤ 送り配線は天井埋込型プラズマクラスターイオン発生機(IG-3B350S)専用です。  
追加するイオン発生機は4台まで可能(合計5台まで)
- ⑥ 電源線をコードクランプで固定する。



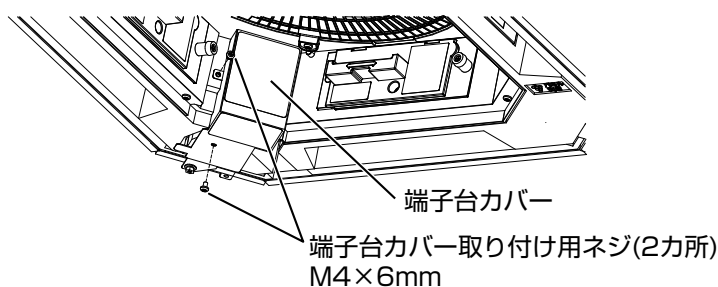
※電源は必ずブレーカーを通した单相200V、50-60Hzの電源に接続してください。

### コードクランプの固定のしかた

バンド固定台に結束バンド(本体に付属)を通し、電源線を緩みなく固定する。  
固定後は結束バンドの余分な部分を切り取る。



### 端子台カバーを元に戻す(ネジ2カ所)



ご注意

- 電源線、モーターリード線が噛みこまないように端子台カバーを取り付けてください。

## 4. 化粧パネルの取り付け

### 化粧パネルの準備

パネル止めねじが化粧パネル梱包内部に付属されますので、取り付け前に確認してください。

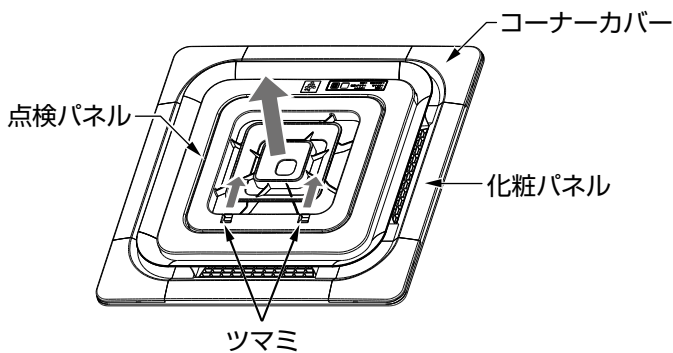
パネル止めねじ M5×25 4本  
(十字穴付ボルト)



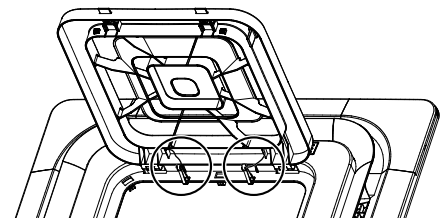
ご注意

- 必ず付属のネジを使用してください。

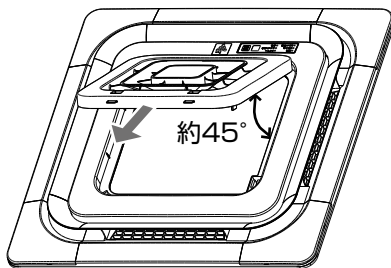
① 点検パネルのつまみを押して持ち上げます。



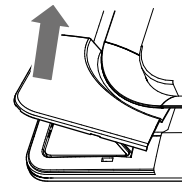
② 落下防止ひもを取りはずします。(2カ所)



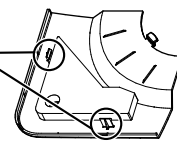
③ 点検パネルを約45°の角度まで開けてから化粧パネルから取りはずします。



④ コーナーカバーを矢印の方向へ引き上げて取りはずします。(4カ所)



ツメ (2カ所)



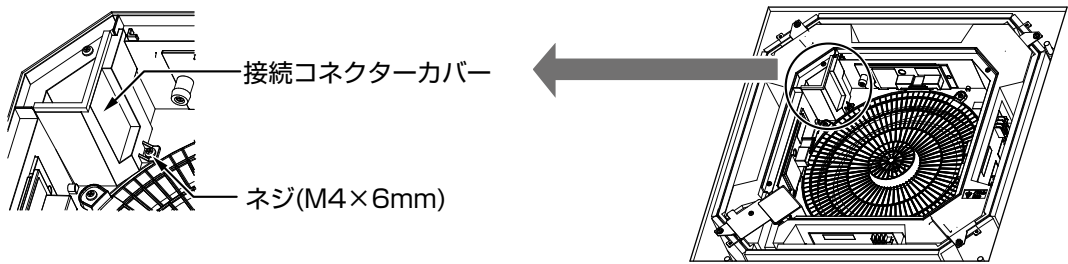
ご注意

- 化粧パネルのルーバーに力を加えたりしないでください。
- コーナーカバーを取りはずす際に、矢印方向以外に引っ張るとツメが破損するおそれがあります。
- 取りはずしたコーナーカバーのツメ(2カ所)を破損しないように注意してください。

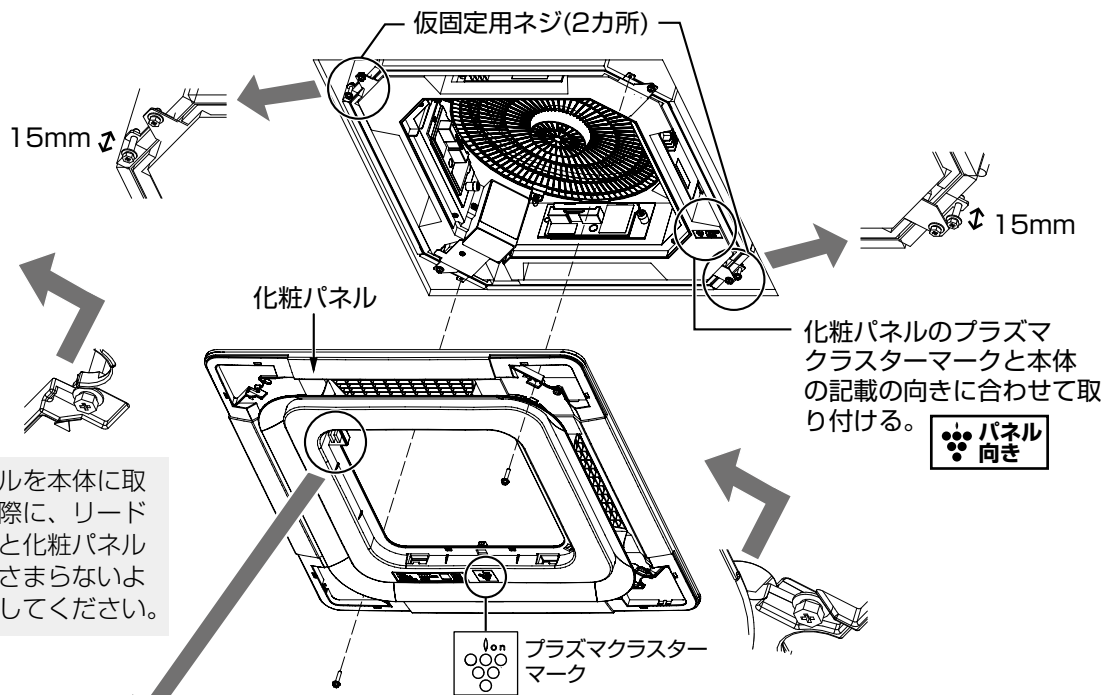
# 7 イオン発生機の据付工事のしかた (つづき)

## 4. 化粧パネルの取り付け(つづき)

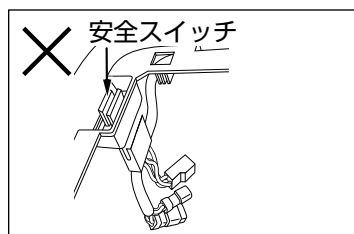
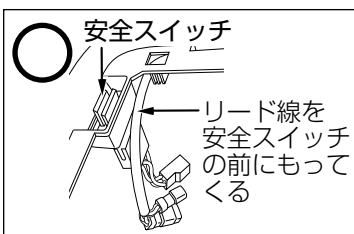
ネジ(1カ所)を取りはずして、接続コネクターカバーを取りはずします



- ① 化粧パネルの仮固定用に下記の2カ所にネジを15mm程度浮かせた状態で取り付け、化粧パネルを仮固定します。
- ② 残り2カ所のネジを固定した後に、仮固定に取り付けたネジを締めつけます。



※ 化粧パネルを本体に取り付ける際に、リード線が本体と化粧パネルの間にはさまらないように注意してください。



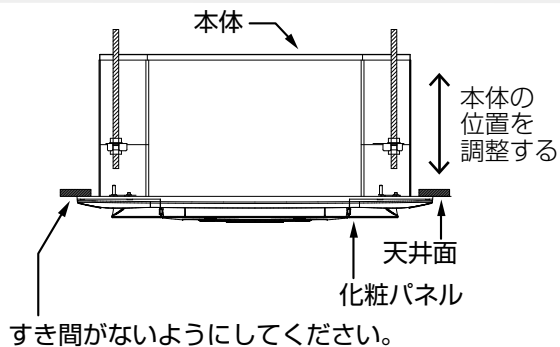
**ご注意** ● 化粧パネルはパネル止めねじ(4本)で確実に固定してください。

## 4. 化粧パネルの取り付け(つづき)

3

ご注意

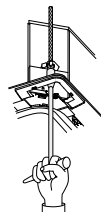
- 本体と化粧パネル、および天井面と化粧パネルとの間にすき間のないようにしてください。  
※すき間があると天井面空気漏れ、露つき、露たれ、汚れ発生の原因となります。



パネル止めネジを締め込んでも隙間が発生する場所は、本体の高さを再調整してください。

ご注意

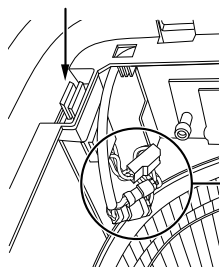
- 天井材の表面に対し、本体を上げすぎると化粧パネルの変形・動作不良の原因となります。



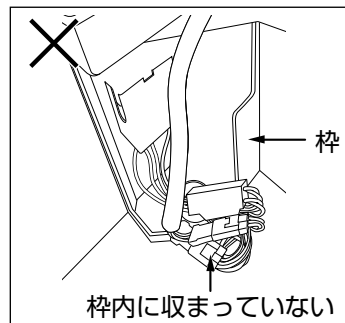
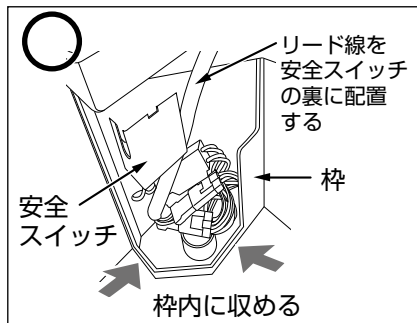
本体の水平度・化粧パネルの変形に影響がでない程度であれば化粧パネルのコーナー部の穴より化粧パネルを付けたまま本体の高さ調整ができます。

- ① 化粧パネルのリード線のコネクタを本体の接続コネクタ(3カ所)に確実に接続してください。
- ② 接続後はリード線、コネクタを枠の中に収めてください。  
※枠内からはみ出ていると、接続コネクタカバー取り付け時に噛みこむおそれがあります。

安全スイッチ



接続コネクタ  
(3カ所)



4

コネクタはしっかり押し込んでください。  
(奥まで挿入されていないことがあるため、再度コネクタを押し込んでください)

ご注意

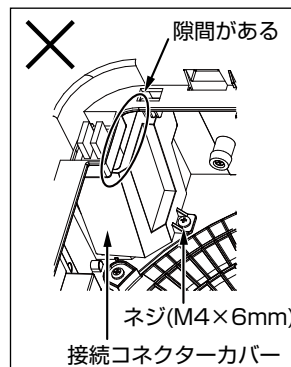
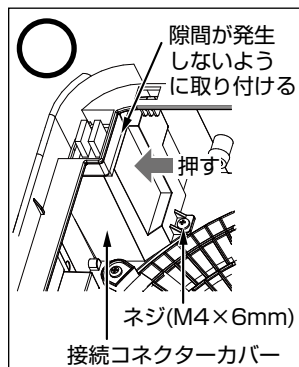
- 確実に挿入すること。接続が不完全であると正常に動作しません。  
(電源が入らない、LEDが点灯しないなど)

- ③ 接続コネクタカバーを右図の矢印の方向に押しつけて化粧パネルとの間に隙間が出ないようにネジ(1カ所)を締めて取り付けてください。

※ 接続コネクタカバー取り付け時にリード線・コネクタが噛みこまないように注意してください。

ご注意

- ネジの取り付けに電動ドライバーを使用しないでください。  
(接続コネクタカバー破損の原因)

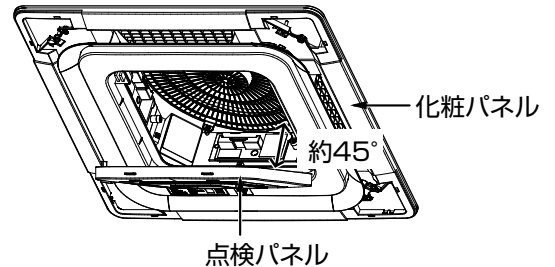


# 7 イオン発生機の据付工事のしかた (つづき)

## 5. 点検パネルの取り付け

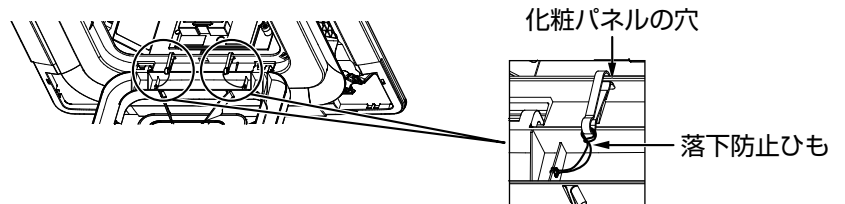
1

点検パネルの角度を約45°の角度にし、  
引っ掛け部(2カ所)を化粧パネルに取り付けます。



2

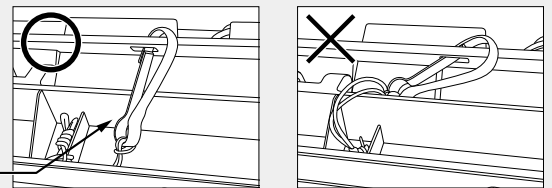
落下防止ひもを化粧パネルの  
穴に引っ掛けてください。  
(2カ所)



ご注意

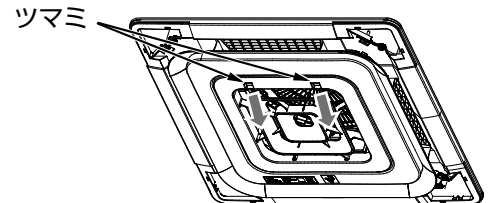
- 点検パネルを閉めるとき、落下防止ひもの金具部をはさみ込むおそれがあります。金属部が点検パネルの上に乗っているようにしてください。

点検パネルの上に乗っている



3

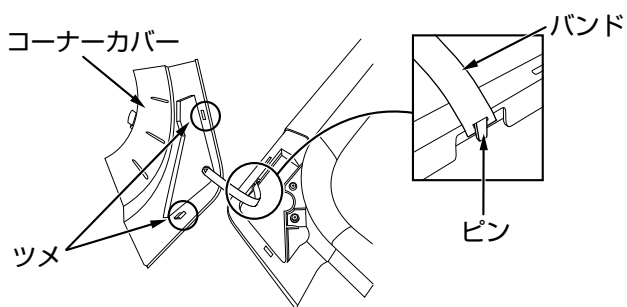
点検パネルをゆっくり押し上げ、最後に2カ所のツマミを  
押しながら化粧パネルに確実に引っ掛けます。



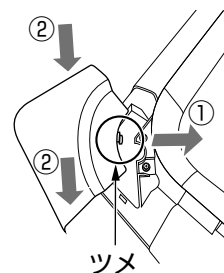
## 6. コーナーカバーの取り付け

- ① コーナーカバーの裏側のバンドを  
パネルのピンに引っ掛けてください。

コーナーカバー



- ② コーナーカバーのツメを化粧パネルの穴に差し  
込んだ後、残りのツメ(2カ所)をはめ込んで取り  
付けます。



ご注意

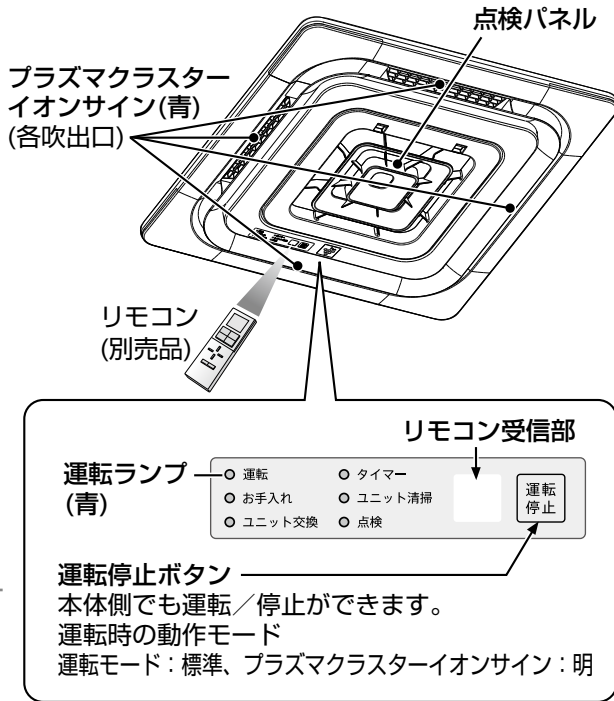
- バンドは確実にピンに引っ掛けてください。コーナーカバー取りはずしのときに落下しケガの原因となります。
- コーナーカバー取り付け時にバンドをはさみ込まないように注意してください。



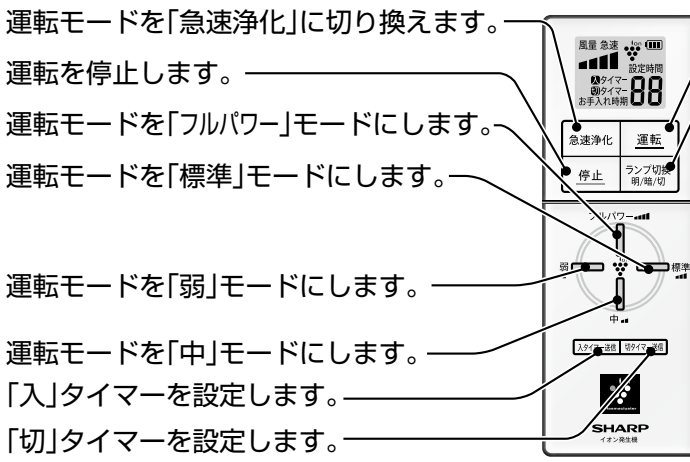
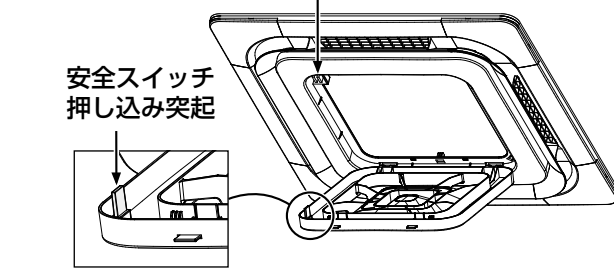
# 8 試運転

壁スイッチを「入」にすると、前回の運転モードで運転します

- 1 電源(分電盤ブレーカー)を入れてください。
- 2 壁スイッチが設置されている場合は壁スイッチを「入」にします。
- 3 リモコン(別売品)を本体(リモコン受信部)に向けて「運転ボタン」を押して作動させます。「弱」、「中」、「標準」、「フルパワー」、「急速浄化」のボタンを押して各運転モードで動作させ、その運転状態を確認してください。「ランプ切換」のボタンを押して、各吹出口にあるプラズマクラスターイオンサインの明るさ(明/暗/切)が切り換わることを確認してください。
- 4 異常な振動・騒音がないことを確認してください。
- 5 点検パネルを開いて、本体が停止することを確認してください。(安全スイッチの動作確認です) ※ファンはしばらく惰性で回っています。
- 6 点検パネルを閉めてください。 ※しばらくしてから動作を開始します。
- 7 リモコン(別売品)で運転を停止して、停止状態となることを確認してください。壁スイッチが設置されている場合は、壁スイッチを「切」にします。



- 8 電源(分電盤ブレーカー)を切ってください。



**ご注意**

- 電子瞬時点灯方式(ラピッドスタート方式)またはインバータ方式の蛍光灯の近くに製品を設置しますと、リモコンの信号を受け付けないことがあります。(電子瞬時点灯方式またはインバータ方式の蛍光灯はグローランプがありません)
- 蛍光灯が切れそうな状態(点滅など)になるとリモコンの信号を受け付けないことがありますので、そのときは蛍光灯を交換してください。

7 イオン発生機の据付工事のしかた / 8 試運転

# 9 チェックシート

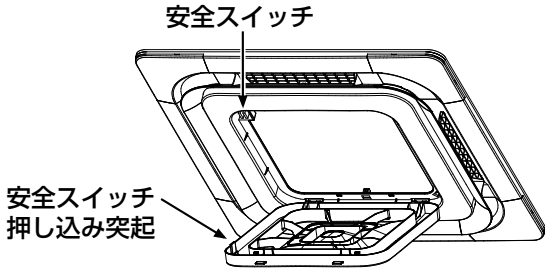
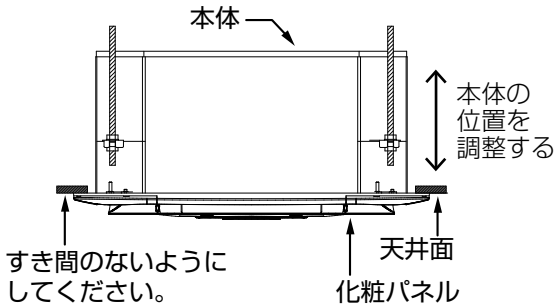
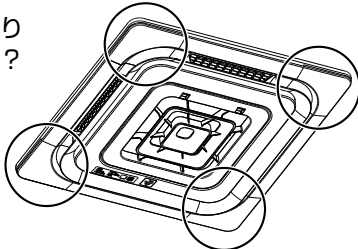
## 工事完了後のご確認

工事完了後、下記項目についてチェックをお願いいたします。

	チェック項目	詳細	チェック欄
1	単相AC200Vの配線になっていますか？	—	
2	端子台に電源線2本とアース線は接続されていますか？	電源線2本が確実に接続されているか、また、アース線が端子台の正しい位置に接続されているか確認してください。 (計3本が端子台に接続)	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧パネルのリード線のコネクタ(3カ所)が本体に接続されていますか？</li> <li>接続コネクタカバーと化粧パネルとの間に隙間が出ないように取り付けられていますか？</li> </ul> 	コネクタを奥まで確実に挿入してください。挿入が不完全の場合、製品が正常動作しません。 	
4	化粧パネルがネジで固定されていますか？	付属のネジ (M5×25) 4本で固定されているか確認してください。	
5	点検パネルの落下防止ひもが化粧パネルに正しく取り付けられていますか？	落下防止ひもが2カ所とも取り付けられているか確認してください。	
6	点検パネルのツマミが化粧パネルに正しく引っ掛かっていますか？	ツマミが2カ所とも引っ掛かっているか確認してください。	
7	外観は汚れていませんか？	化粧パネル、ルーバー、点検パネルに汚れが付着していないか確認してください。汚れている場合は清掃してください。	
8	リモコン操作できますか？	リモコン(別売品)の「運転」ボタンを押して運転できるか、「停止」ボタンを押して停止できるか確認してください。 (運転前に、ブレーカや壁スイッチがONされているか確認してください)	
9	化粧パネル表示部のボタンで操作できますか？	化粧パネル表示部の「運転停止ボタン」を押して、運転と停止ができるか確認してください。	
10	異常音がしていませんか？	製品が動作中に異常音がしていないか確認してください。(「ジー」という音はプラズマクラスターイオンが発生するときの音で、異常ではありません)	

## 工事完了後のご確認(つづき)

工事完了後、下記項目についてチェックをお願いいたします。

	チェック項目	詳細	チェック欄
11	安全スイッチは確実に押し込まれていますか？ 	点検パネルを軽くたたいて、電源が切れたり運転ランプ(青)が一瞬消えたりしないか確認してください。  当製品には、点検パネルを開けたときに動作停止となるように安全スイッチが取り付けられています。点検パネルの押し込み突起が安全スイッチに届かない状態では、安全スイッチが解除されないため、製品が動作しない状態となります。	
12	天井面と化粧パネルの間にすき間がありませんか？ 	化粧パネルと天井の設置部全周にすき間がないか確認してください。  すき間があると天井面空気漏れ、露付き、露たれ、汚れの発生の原因となります。 ※ 天井材の表面に対し、本体を上げすぎると化粧パネルの変形・動作不良の原因となるので、注意してください。	
13	コーナーカバーは取り付けられていますか？ 	4カ所すべてのコーナーカバーが取り付けられているか確認してください。	

### ■据付後の注意事項

こんなとき	お調べください	参照ページ
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブレーカー、壁スイッチが「入」にしてありますか？ ⇒ブレーカー、壁スイッチを「入」にしてください。</li> <li>点検パネルの押し込み突起が安全スイッチを押していますか？ ⇒点検パネルが正しく取り付けられているか確認してください。</li> <li>化粧パネルと本体がコネクター接続されていますか？ ⇒コネクター(3カ所)を接続してください。</li> <li>電源線が端子台に接続されていますか？ ⇒電源線の接続をおこなってください。</li> </ul>	17 16 15 11, 12
プラズマクラスターイオンサイン(青)が点灯しない(吹出口4カ所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧パネルと本体のコネクターが確実に接続されていますか？ ⇒コネクター(3カ所)をしっかり奥まで差し込んでください。</li> <li>ランプ切替で明るさを「切」にしていませんか？ ⇒リモコンで「ランプ切替」ボタンで明るさを切り換えてください。</li> </ul>	15 取扱説明書 9

# 10 引き渡し

## お客様に引き渡す際の説明について

お客様に引き渡す際には、下記のことを必ず説明してください。

1. 同梱されている取扱説明書に記載されている操作方法と安全上のご注意。
2. 長時間使用しないときは、元電源を切ること。
3. 使用前にもう一度、取扱説明書を読んでいただくこと。
4. 取扱説明書を、いつでも見られるところに大切に保存すること。

## お問い合わせ先



メールでのお問い合わせなど  
【シャープサポートページ】

シャープ お問い合わせ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/>



使用方法のご相談など  
【お客様相談センター】



0120-099-233



修理のご相談など  
【修理相談センター】



固定電話、PHSからは、フリーダイヤル  
0120-02-4649



携帯電話からは、ナビダイヤル

0570-550-447

※非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。詳しくは、取扱説明書19ページをご覧ください。

シャープ株式会社

本

社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号

健康・環境システム事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

• この工事説明書は再生紙、および  
植物油インキを使用しています。



TINSJA112KKRZ 13LS ①